

令和7年度 新宮町地域づくり協議会議事概要

- 1 会議名 令和7年度 新宮町地域づくり協議会
- 2 日時 令和8年2月19日(木) 13:30~16:00
- 3 会場 霧の森交湯~館2階研修室、駐車場
- 4 出席者 委員7名(委員9名のうち)
委員長 鈴木秀明 副委員長 内田道明
脇純樹委員 窪田あゆみ委員 宇田忠司委員 石川英二委員 栗岡君江委員
【四国中央市】
市長 経済部長 生涯学習課長 農業振興課長 学校政策課長
農林水産課長 長寿支援課長補佐 税務課長 建築住宅課長
地域振興課長 建設課長 防災まちづくり推進課長
市民部長 医療対策課長
【(公財)えひめ地域活力創造センター】
田村政幸副センター長 外3名
講師:鍋島悠弥、石田貢三
新宮ダム管理所長 柳瀬ダム管理室長
事務局 山おこし課長 他2名
- 5 傍聴者 16名

協 議 事 項 等

- 1 会議次第
 - 1 開会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 協議事項
 - 議題1 事前質問事項についての回答
 - 議題2 四国中央市過疎地域持続的発展計画(令和3年度~令和8年度)に係る事業一覧(令和7年度分)及びその他事業一覧(令和7年度分)の報告について
 - 4 地域づくりマネジメント講座
~ふるさとを守りデザインする!「地域の夢の描き方」~
 - 1) 講座
講師:鍋島 悠弥(総務省地域力創造アドバイザー・愛媛県集落支援員)
講師:石田 貢三(島根県益田市地域プロジェクトマネージャー)
 - 2) 質疑応答・意見交換
 - 5 新宮ダム管理所からの説明
 - 6 医療 MaaS 事業概要説明・オンライン診療デモンストレーション

2 会議概要

(1) 事前質問項目についての回答

〈各担当課より説明〉 主な意見は下記のとおり

- ・少年自然の家寺内分館について今後の活用について
→令和7年6月3日「あり方検討会」を立ち上げ協議。新宮地域社会教育施設（寺内分館、少年自然の家、自然の家）のあり方についての協議は、今後も継続する。
- ・抹茶生産の補助等支援策について
→抹茶を含めた茶業を取り巻く市場動向や生産者の意向等を踏まえながら、うま茶振興協議会とも情報共有を行い、活用可能な支援策について検討する。
また現在活用可能な補助金等について説明。
- ・災害時の対応について（災害アセスメントの活用方法、部署間の連携方法、具体的な対応体制について）
→「災害時リスク・アセスメントシート」は、長寿支援課と防災まちづくり推進課でのみ情報を共有。避難行動要支援者の支援に関する関係部署間での連携体制を整えたうえで情報共有を進め、災害発生時には迅速な情報提供が出来るよう適切に管理していく。
- ・ステラ新宮について
→ステラ新宮は、地域運営組織（RMO）と認識している。
市としては、公益財団法人えひめ地域活力創造センター（tiliki）などにも協力を得ながら、助言・協力を継続。
- ・真鍋淑郎博士生家について
→令和8年2月に市に寄贈された。今後は地元住民の方々とも相談しながら、活用を検討していく。

(2) 四国中央市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和8年度）に係る事業一覧（令和7年度分）及びその他事業一覧（令和7年度分）の報告について 〈山おこし課より説明〉

・意見なし

(3) 地域づくりマネジメント講座

～ふるさとを守りデザインする！「地域の夢の描き方」～

1) 講座

講師：鍋島 悠弥（総務省地域力創造アドバイザー・愛媛県集落支援員）

講師：石田 貢三（島根県益田市地域プロジェクトマネージャー）

2) 質疑応答・意見交換

- ・参加者からの事前質問に対する回答

(4) ダム管理所よりお知らせ

- ・「きりのもり湖」の命名について
- ・節水に関する周知について

(5) 医療 MaaS 事業概要説明・オンライン診療デモンストレーション

- ・医療対策課より事業概要説明後、参加者がオンライン診療を体験

—閉会—